

\*: ° ☆。 , \*: ★。 , \*: ° ☆。 , \*: ° 。 , \*: ° ☆。 , \*: ★。 , \*: °



# みらいつうしん

3月号

2024年3月1日  
田園調布学園大学  
みらいこども園  
園長 勝浦 芳子

\*: ° ☆。 , \*: ★。 , \*: ° ☆。 , \*: ° 。 , \*: ° ☆。 , \*: ★。 , \*: °

## 子どもの成長を見守って

温かい日差しを浴びて、園庭の梅の花も赤く色づき、甘い香りとともに、子ども達に「春だよ！」と春の訪れを教えてくれています。いよいよ園生活は年度の締めくくりの時期を迎えました。

令和5年度も、あと1か月余りとなりました。子ども達の会話の中ではもうすぐ就学や進級することを意識しているのか「〇〇小学校に行くんだよ！」「〇〇組になるんだよ！」「自分で〇〇出来るよ。すごいでしょ！」等という声も聞こえ、それぞれが就学、進級と期待に胸を膨らませて、園生活を楽しんでます。いろいろな体験をしてきた中で出来ることも多くなったことが、喜びや自信につながり、どの子ども大きく成長した姿は、入園当初の頃がととても懐かしくさえ感じます。特ににじ組さんは、園を巣立っていきますので、感無量の気持ちで胸が熱くなります。

先日、にじ組さんとそら組さんが作ったお店屋さんで楽しむ「みらいランド」が、2日間に渡り行われました。今年は、お店のほかにも、温泉やダンスショー、ジェットコースターなどもあり、バラエティー豊富なコーナーがありました。お店に並ぶ作品もクオリティーが高く、本物そっくりで、見ていただけでも楽しめるものがたくさんありました。にじ組は、この日を迎えるにあたって、早いうちから、何のお店がいいのかみんなよく話し合い、それぞれが、イメージを持って作品づくりに取り組んでいる様子を感じられました。{どうしたら、喜んでくれるかな?}という「人をもてなす心」も育まれ、成長を感じました。そら組は、お店づくりは楽しんでいましたが、いざ、お店をオープンする際に、「どうやって売ったらいいのか」「なんて声を掛ければいいのか」「どうしよう。分からないよ」と悩む子もいました。その姿を見た時、大人は売り買いのイメージが浮かんでも、子ども達の生活の中には、『いらっしゃい』『ください』のやり取りは、未経験で、お店屋さんごっこのやり取りは子どもにとっては理解が難しいのだなと気づかされました。当日は、保育者が、寄り添って「こうしたらいいんじゃないと声をかけると、次第に売り買いの意味を理解し、自信を持って乳児さんやほし組さんに、優しく声をかけ、お店屋さんごっこを楽しんでいました。どこのコーナーも活気があり、満員御礼で子ども達の満足そうな笑顔であふれていました。2月の後半には、にじ組とそら組で、たちばな公園へお別れ遠足に行ってきました。憧れのにじ組さんと一緒に楽しい時間を過ごしたそら組の子ども達は、次は自分たちがにじ組になるんだという実感がそれぞれに湧いたようで、どことなく大きな姿に映りました。

このように、子ども達同士が対話を楽しみながら、笑ったり試行錯誤したりした活動や異年齢の友達と関わることは、思いやりの気持ちも膨らみ、人との関わり大切さもたくさん学ぶことが出来ます。子ども達は、「僕もやってみたい、私はあれがいい」「素敵」「かっこいい」等いろいろな思いを表現することで次へのステップを目指していくのだなと、子どもの姿から感じます。みらいこども園は、日頃から人との関わりをととても大切にしていますが、どういう出会いをするかによって、将来の目標や目的が見つかっていくと思います。これからも友達との絆が深まり、普段の遊びがより一層広がり、子ども達の成長に繋がって欲しいと願っています。

にじ組さんと過ごす日々は本当に、残り少なくなりました。先日も、新城小学高の5年生との5・5交流が行われ、小学校の「いろは」を優しく教えていただきました。最後には、お手紙交換もあり、どの子ども期待に胸を躍らせている様子でした。にじ組の子ども達とお別れするのは寂しいですが、みらいこども園での思い出を大切に、胸を張って小学校へ入学してほしいと職員一同心から願っています。また、進級を迎える子ども達についても、自信を持って次へのステップに進めるよう、職員全員が、気を引き締めて、教育・保育に臨みたいと思います。

保護者の皆様！ご理解とご協力、本当にありがとうございました。

